

## フードバンクちばの記事を掲載していただきました。

千葉県社会福祉協議会が発行する『福祉ちば』No.163に、フードバンクちばの活動内容をわかりやすく掲載していただきました。県内の各市町村等でご覧いただけますので、ご興味がある方は是非どうぞ。

パルシステム生活協同組合連合会発行の月刊『のんびる』12月号の「のんびる掲示板」にも掲載していただきました。パルシステムご利用の皆さま、のんびる読者の皆さま、ご協力よろしくお願いいたします。

## 昨年に引き続き、赤い羽根の共同募金の使途選択募金に選ばれました。

使途選択募金は、赤い羽根共同募金のうち、提供する団体を指定して寄付できる募金です。今年にはフードバンク活動として1団体専用のチラシを作っていました。共同募金会を通じてご寄付いただくと法人の場合法人税の損金に全額が算入されるなどの特典があります。個人の方でも所得税や住民税の税額控除の対処となります(2千円を超える部分)。皆さまぜひ、赤い羽根共同募金へご協力ください。



## 余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

### 【ご家庭から】

家庭で余っている食品(保存可能な物)を募集しています。

### 寄付いただきたい食品

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 穀類(お米、麺類、小麦等)     | <input type="checkbox"/> 保存食品(缶詰、瓶詰等)     |
| <input type="checkbox"/> 乾物(のり・豆など)        | <input type="checkbox"/> インスタント食品・レトルト食品  |
| <input type="checkbox"/> 調味料各種、食用油         | <input type="checkbox"/> ギフトパック(お歳暮・お中元等) |
| <input type="checkbox"/> 飲料(ジュース・コーヒー・お茶等) |   |



個人支援に利用させていただいている食品の一例

### 【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品(賞味期限1カ月以上)などがございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談させていただきます。

### ご寄付のお願い

フードバンクちばでは、みなさまのご寄付や協賛金を受け付けております。活動をご理解いただき、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

### ● 郵便振替口座

口座名義: **フードバンクちば** 口座番号: **00150-2-652117**

### ● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名: ゆうちょ銀行 種別: 当座 支店名: ○一九店 口座番号: 0652117 口座名義: フードバンクちば

### お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-375-6804** 平日 10:00~17:00 ☎ **043-242-8900**

※スタッフ不在の場合は、留守番電話にお名前とご連絡先電話番号をお話してください。折り返しこちらからご連絡いたします。

✉ [fbchiba@jigyoudan.com](mailto:fbchiba@jigyoudan.com)

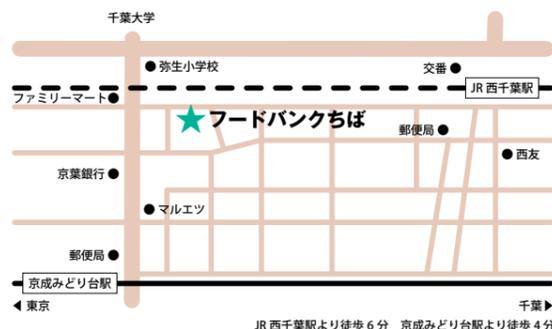
💻 <http://foodbank-chiba.com>

ブログ: [fbchiba.ko-me.com](http://fbchiba.ko-me.com)

### フードバンクちば

ワーカーズコープちば 企業組合労働協働事業団  
サポートセンターオアシス内

〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101



# フードバンクちば通信

フードバンクちば(企業組合労働協働事業団:サポートセンター「オアシス」内)〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101

## 支援の輪が広がっています。



各地域のフードドライブ窓口で、独自に広報活動などを行っていただいたこともあり、過去最高約5.4トンの食品が集まりました。引き続き「フードバンクちば」へご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

Vol.10  
2014年  
12月20日発行

### CONTENTS

- ① 第8回フードドライブにご協力ありがとうございました!
- ② フードバンクちばの支援状況をお知らせします。
- ③ 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切にに使わせていただきます。
- ④ ご寄贈いただいた食品は被災地や県内の施設に届けています。
- ⑤ 各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。

### 現在までの支援状況

2014年4月~2014年11月までに提供した食品

<団体> 約8.1トン

<個人> 約9.0トン

内訳: お米・調味料・パスタ・そうめん・ツナ缶・ジャム・菓子・飲料など

## 第8回フードドライブにご協力ありがとうございました!

各地域のフードドライブ窓口への寄贈が確実に増えています。県内各地からさまざまな食品がたくさん届きました。

9月16日(火)~10月31日(金)の日程で行った第8回フードドライブが無事終了しました。今回から酒々井町、茂原市、君津市の社会福祉協議会などで新たに食品の受け取り窓口を開いていただき、全部で窓口が55か所になりました。開始に先立ち9月12日に「フードドライブ・オープニングセレモニー&フードバンク防災訓練」のイベントを行いました。オイル缶を2つ組み合わせて作った「ロケットストーブ」で、お湯を沸かして防災食品を試食したり、お餅を焼いてふるまったりしました。それぞれの窓口で広報や呼びかけをしていただいた結果、予想を大きく上回り、これまでのフードドライブで最高の約5.4トンをご寄贈いただくことができました。特に季節柄もありお米の寄贈が大量にありました。ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございます。困っている方々の支援に大切に利用させていただきます。なお、次回以降のフードドライブの日程は以下の通りです。各団体におかれましては、ぜひフードドライブを年間計画に位置付けていただけますよう、ご検討のほどよろしくお願いいたします。



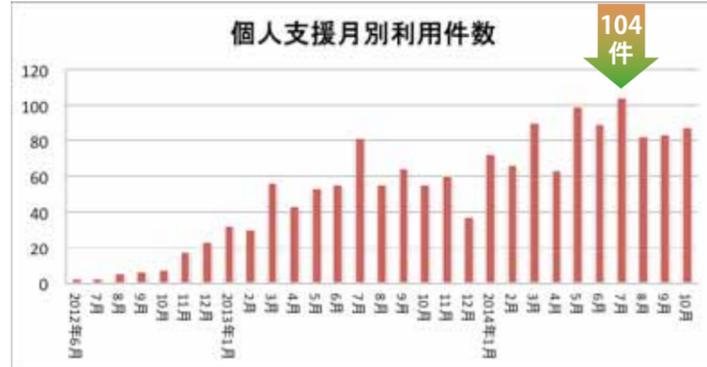
倉庫に入りきらないほどたくさんのお米が集まりました。

## 次回第9回フードドライブ 2015年1月13日(火)~2月27日(金)

- 第10回フードドライブ 2015年5月18日(月)~6月30日(火)
- 第11回フードドライブ 2015年9月14日(月)~10月30日(金)

## フードバンクちばの支援状況をお知らせします。

7月に個人支援が100件を超え、その後も毎月80件台で推移しています。最近の特徴としては、他の公的支援が難しくフードバンクの利用が複数回、長期化するケースがでてきていること、個人宅への直接配送だけでなく、相談支援窓口へお送りして支援者からお渡しするケースなどが増えてきています。フードバンクちばでは、現在22市町の社会福祉協議会、同じく約20市町の社会福祉関連部署、その他、中核地域生活支援センター、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、福祉施設等、全部で100ヶ所ほどの相談・支援窓口と連携して、食べるものに困った方々への食品支援を行っています。



個人支援の月当たり利用件数 (2012年6月～2014年10月のべ1,518件)

フードバンクは民間のボランティアベースの活動ですので、常にご要望にお応えできる質・量の食品を準備できるわけではありませんが、皆様のご協力を得て、できる限りの対応をしていきたいと考えています。制度の谷間や隙間にいて公的制度を利用しづらい人、緊急一時的な支援で制度利用をしないで済む人、地域の助け合いや見守りの中で少しの支援があればやっていける人など、フレキシブルな対応ができるのが強みです。千葉県内での地域を支えあいとしてのフードバンクづくりに、皆様のご協力をお願いいたします。

30代男性

**中核地域生活支援センターより (9月)**

今年2月にこれまで金銭援助を受けてきた知人から援助を止められ、現在に至るまで家賃・光熱水費を滞納。10月に強制退去の予定。生活保護を申請し、社会福祉協議会より2万円借り入れたが、電気・ガスの滞納金を支払ったら手持ち金がなくなった。

40代男性

**市役所より (10月)**

仕事があるといわれて転居するも仕事が見つからず、持病が悪化して困窮状態となり、生活保護を申請。受給開始まで社会福祉協議会で少額の貸し付けを申請するも決定まで時間がかかる。手持ち金400円。

20代男性  
20代女性  
10代未満  
1人

**市役所より (11月)**

10月後半に生活保護申請し、社会福祉協議会から保護費支給まで2万円貸付するも、1歳の長男と妊婦である妻の食費及び就職活動費で消費し、現在手持ち金1,000円で食料品も底をついている。

70代女性

**市役所より (9月)**

夫の死亡により、生活困窮。10月に遺族年金を受給できるが、現在手持ち金が2000円しかない状況。

50代男性

**中核地域生活支援センターより (10月)**

高齢の母と暮らしていたが、母の体調が悪化し施設入所。収入は母の年金だけだったため困窮する。支援により療育手帳を取得したが障害年金の申請は拒否。親族も支援を拒否しているため、本人、親族を説得中。

40代男性  
40代女性  
10代2人

**社会福祉協議会より (11月)**

ハローワークの紹介。貸付の検討をしたが書類を用意できず、申し込みできない。2月に雇用保険受給の予定で、それまで妻のパート収入と長男の学資保険を解約して生活するが、それでも足りないような状況のため申請する。

## 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切にに使わせていただきます。

大阪フロンティア物産様より、輸入菓子(約5,000個)、八街市の(株)ロックフォール様よりビスケット(12個入12箱)、ニック食品株式会社様より濃縮飲料(500ml12本入23箱)、市川市の京成電鉄(株)本社様より災害備蓄品(アルファ米:650食分、ミネラルウォーター208本)、木更津市の南房総びわ間屋様より超低温冷凍おせち料理300セット(3段重)、ブルーミングガーデン松戸南管理組合様よりアルファ化米(500食分10箱)、船橋市の三和商事株式会社様よりパンの缶詰(24個入60箱)、茨城県神栖市波崎の「越田商店」様からサバの文化干し100枚、大多喜ガス(株)様より水(555ml24本入100箱)、(株)ポーラ・オルビスホールディングス様より災害備蓄品(クラッカー:10缶入7箱、水:500ml18本7箱)をいただきました。



## ご寄贈いただいた食品は被災地や県内の施設に届けています。

### 9月と12月に飲料水やジュース等を福島県の被災地に届けました。

9月27～28日に、京成電鉄(株)様よりいただいた飲料水やジュース等を福島県の被災地に届けました。まず飯館村から福島市飯野町の借上げ仮設住宅に避難している女性たちの手仕事製品づくりを取りまとめている佐々木さんのお宅を訪問。放射線量が高くまだ帰村できない状況ということでした。次に、相馬市で震災直後に「朝市」を立ち上げ、以来毎週土日に活動を行っている「NPO相馬はらがま朝市クラブ」の高橋理事長のご紹介で、相馬市の「みなと保育園」を訪問。飲料水やジュース・菓子を寄贈しました。その後、はらがま朝市クラブが運営する交流スペース「報徳庵」で近況をお聞きしました。震災後3年半が経ち、沿岸部のガレキはきれいに片づけられましたが、漁協の再開は難しく地域の空洞化も進んでいます。高橋理事長は「東電の補償金や行政の補助金に頼る限り地域はどうにもならない」と自立のための新しい事業に挑戦していく計画を語ってくださいました。

さらに12月14日にも大多喜ガス(株)様よりいただいた飲料水や愛媛県の無茶々園からいただいたみかん等を持って再度福島へ向かいました。「相馬みなと保育園」「報徳庵」「飯館借上げ住宅」「かーちゃんのカプロジェクト(わいわいカフェ、あぶくま茶屋)」へ寄贈しました。みなと保育園には、2012年8月、2013年9月、前回は続き4度目の訪問です。園児たちの昼食の調理の際には、いまだにミネラルウォーターを使っているとのことで、毎回、水を届けています。今後も福島との交流は出来る限り続けていきたいと考えています。



### ボランティアの方々のおかげで施設へ食品を届けることができました。



スタッフがわずかしかない中で、フードバンクちばが活動を維持できているのは多くのボランティアの方々のおかげです。毎日の個人支援食品の箱詰めから、寄贈いただいた食品の仕分け作業、引き取りが難しい施設への配達までボランティアの方々のご尽力がなければ成り立ちません。また、これまで冷凍・冷蔵食品は保管ができないため取り扱っていませんでしたが、配送ボランティアの方のおかげで南房総びわ間屋様よりいただいた冷凍おせち料理や越田商店様よりいただいたサバの文化干しをすぐに施設に届けることができました。今後も出来る限り、食品を有効利用できるよう工夫していければと思っています。



## 各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。

<塚田環境フェア:9月7日@船橋市塚田公民館> この環境フェアは船橋市でも歴史が古く今年で19回目を迎えます。事前のチラシでフードドライブの案内もあり、想像以上に多くの食品をお持ち寄りいただきました。

<NPOフードバンク山梨主催の研修会:8月29日@兵庫県神戸市/11月7日@東京都千代田区> 農水省の助成金を活用して行った2回の研修会に参加し、「フードドライブ」のテーマで報告させていただきました。

<エコライフめぐろ推進協議会まちづくりグループ主催のまちづくり講座:10月15日@船橋市塚田公民館>「地域活動をはじめのヒント～つながる・広がる・楽しむ～」の第2回「もったいない」で地域支援!フードバンクちばの取り組み」でお話しさせていただきました。

<生活福祉資金にかかる自立生活支援担当者研修会:11月28日@船橋市塚田公民館> 千葉県社会福祉協議会主催の研修会でフードバンクちばと社会福祉協議会の連携についてお話しさせていただきました。日頃よりフードドライブ等でお世話になっている各市町村社協の担当者の方の前でお話しするのは多少緊張しましたが、大変貴重な経験でした。ありがとうございました。

